



プログラム(1日目) 9月1日(金) 高野山大学松下講堂・黎明館

■ 開会式 10:00~10:10

代表世話人挨拶 稲葉 吉隆 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部)

特別挨拶 工藤 正俊 (近畿大学医学部消化器内科)

当番世話人挨拶 上嶋 一臣 (近畿大学医学部消化器内科)

■ 一般演題1 10:10~10:40

「肝動注リザーバー (HCC①)」

座長 板野 哲 (久留米中央病院)

1-01 腹腔動脈根部動脈瘤合併の肝細胞癌にSystem-iを用いて、反復動注が有効であった1例

田尻 能祥 (久留米中央病院 内科)

1-02 System-iを用いた短期反復選択的New-FP動注化学療法が著効した大型進行肝癌の2例

高木 聡 (長岡赤十字病院 放射線科)

1-03 高度進行肝癌に対するシステム-iの有用性について：初期経験

小岡 洋平 (八戸赤十字病院 消化器内科)

■ 一般演題2 10:40~11:20

「肝動注リザーバー (HCC②)」

座長 末吉 智 (奈良県総合医療センター 放射線科)

2-01 窓形成により血流分布不均衡を生じた肝動注リザーバー留置の一例

岩井 健司 (静岡県立静岡がんセンター IVR科)

2-02 リザーバー留置において鎖骨下動脈に仮性動脈瘤を形成した1例

佐久間 理香 (大垣市民病院 消化器内科)

2-03 進行肝細胞癌に対するリザーバー持続肝動注化学療法におけるリザーバー関連合併症に関する検討

高田 昇 (金沢大学病院 消化器内科)

2-04 動注リザーバー留置における術者被ばくの検討

伊東 孝宏 (静岡県立静岡がんセンター 画像診断科)

■ 一般演題3 11:20～11:50

「肝動注リザーバー (HCC③)」

座長 高口 浩一 (香川県立中央病院 肝臓内科)

3-01 血液透析中に発症した門脈腫瘍栓を伴う進行肝細胞癌に肝動注化学療法が奏功し、肝切除を加え完全奏功となった1例

岩本 英希 (久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門/岩本内科医院)

3-02 肝細胞癌術後早期再発症例の検討

村田 慎一 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部)

3-03 進行肝細胞癌に対するアイエーコール肝動注化学療法の成績

佐藤 新平 (杏雲堂病院 消化器肝臓内科)

■ 一般演題4 11:50～12:10

「CVポート①」

座長 稲葉 吉隆 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部)

4-01 CVポートからの造影CTに向けた電子カルテ・RIS連携による高圧注入対応ポート確認の検討

関 裕史 (新潟県立がんセンター新潟病院 放射線診断科)

4-02 慈恵医大におけるCVポート挿入を含めたCVカテーテル認定制度について

貞岡 俊一 (東京慈恵会医科大学附属柏病院 放射線科)

■ ランチョンセミナー 1 12:20～13:20 《共催：エーザイ株式会社》

「肝癌に対する治療アプローチ～その時あなたは何をする？～」

座長 小笠原 定久 (千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学)

演者 「肝癌治療におけるビーズTACEの立ち位置」

岡田 卓也 (神戸大学医学部附属病院 放射線科・血管内治療センター)

「転移性肝癌に対する薬剤溶出性ビーズTACE：海外の論文レビューと本邦における新たな展開」

田中 利洋 (奈良県立医科大学 放射線科・IVRセンター)

■ 特別企画 13:30～15:50

「リザーバー動注化学療法のいままでそしてこれから」

座長 上嶋 一臣 (近畿大学医学部消化器内科)

田中 正俊 (医療法人 弘恵会 ヨコクラ病院 臨床研究センター)

演者 「リザーバーの歴史」

荒井 保明 (国立がん研究センター中央病院 放射線診断科)

「動注化学療法のエビデンス：肝細胞癌」

岩本 英希（久留米大学医学部 内科学講座消化器内科部門／岩本内科医院）

「動注化学療法のエビデンス：転移性肝癌」

新槇 剛（静岡県立静岡がんセンター IVR科）

「ガイドラインからみたエビデンス構築のKnow How～GRADEシステムの活用」

山下 竜也（金沢大学附属病院 消化器内科）

「エビデンス構築のための統計学」

吉村 健一（金沢大学附属病院 先端医療開発センター）

「リザーバー研究会主導臨床研究の提案」

上嶋 一臣（近畿大学医学部消化器内科）

一般演題5 15:50～16:30

「肝動注リザーバー（HCC④）」

座長 森口 理久（京都府立医科大学 消化器内科）

5-01 肝動注リザーバー留置ポートを使用した造影超音波の初期経験

塩澤 一恵（東邦大学医療センター大森病院 消化器内科）

5-02 下向きに分岐する腹腔動脈に対して大腿動脈からカテーテル留置を行う際にガイドワイヤーを大動脈に逸脱させない工夫

松本 純一（金沢大学附属病院 放射線科）

5-03 ALBI scoreを用いた肝予備能に対するリザーバー肝動注の影響の評価

守屋 昭男（三豊総合病院 消化器科）

5-04 切除不能肝細胞癌に対する肝動注化学療法併用重粒子線治療の第1相臨床試験の立案

宮崎 将也（群馬大学 医学部附属病院放射線部・超音波診療センター）

一般演題6 16:30～17:10

「肝動注リザーバー（HCC以外）」

座長 宮崎 将也（群馬大学 医学部附属病院放射線部・超音波診療センター）

6-01 食道癌術後肝転移に対してマイクロバルーンを用いた閉塞試験後にGDAコイル法で肝動注リザーバー留置を行った一例

茶之木 悠登（奈良県立医科大学医学部 放射線科）

6-02 ステージII／III 口腔癌に対する放射線治療を併用しない外来動注化学療法

大前 政利（地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 口腔外科）

- 6-03 全身化学療法不応後の切除不能大腸癌肝転移に対する肝動注化学療法の実態調査
佐藤 洋造 (愛知県がんセンター中央病院 放射線診断・IVR部)
- 6-04 肝外病変なし切除不能大腸癌肝転移症例に動注療法後 肝切除をおこなった症例の後視的検討
高野 浩一 (がん研有明病院 肝胆膵内科)

■ イブニングセミナー 17:20～18:20 《共催：日本化薬株式会社》

「肝細胞癌に対する分子標的薬・免疫チェックポイント
阻害剤治療の進歩～肝動注化学療法はどうなるの?～」

座長 甲田 洋一
(地方独立行政法人大阪市民病院機構 大阪市立総合医療センター 放射線診断科)

演者 上嶋 一臣 (近畿大学医学部消化器内科)